要があると考えられ、気管支平滑筋腫は原発性気管支腫瘍の中でも稀な疾患であり、若干の文献的考察を加え報告する。

21. 大綱による右肺全摘後の気管支摘除摘発が有効であった

3例宮崎拓郎、原信介、遠藤正道、風間真己、田中朋子、川崎啓、南義行（佐世保市立総合病院外科）

【はじめに】大綱は豐富な血管とリンパへの方に著しい組織であり、種々の組織に付着して血管網を形成することにより被覆性を優れ、またその造形作用にも重要な役割がある。今回我々は炎症性肺疾患の治療で右肺全摘を要した3例に大綱移植術を行い、良好な結果を得たので報告する。

【症例】症例1は61歳女性、陳旧性肺結核を伴う気管支拡張症で再三の咳血歴があり、過去二回気管支動脈塞栓術が行われたが咯血を持続するため右肺全摘術を施行した。術後21日目気管支拡張症を発症し、気管支検査にて出血性挙上障害に気管支摘除術の診断を出しながら大綱移植術を行った。症例2は67歳男性、左肺炎定型性抗酸菌症（MAC）を伴う肺萎縮性肺疾患があり、気管支を併発して胸部分切除術を行ったが、気管支末梢摘出術を施行された。気管支摘除業後気管支摘出術を施行した。

【症例】症例1は61歳女性、陳旧性肺結核を伴う気管支拡張症で再三の咳血歴があり、過去二回気管支動脈塞栓術が行われたが咯血を持続するため右肺全摘術を施行した。術後21日目気管支拡張症を発症し、気管支検査にて出血性挙上障害に気管支摘除術の診断を出しながら大綱移植術を行った。症例2は67歳男性、左肺炎定型性抗酸菌症（MAC）を伴う肺萎縮性肺疾患があり、気管支を併発して胸部分切除術を行ったが、気管支末梢摘出術を施行された。気管支摘除業後気管支摘出術を施行した。

【症例】症例1は61歳女性、陳旧性肺結核を伴う気管支拡張症で再三の咳血歴があり、過去二回気管支動脈塞栓術が行われたが咯血を持続するため右肺全摘術を施行した。術後21日目気管支拡张症を発症し、気管支検査にて出血性挙上障害に気管支摘除術の診断を出しながら大綱移植術を行った。症例2は67歳男性、左肺炎定型性抗酸菌症（MAC）を伴う肺萎縮性肺疾患があり、気管支を併発して胸部分切除術を行ったが、気管支末梢摘出術を施行された。気管支摘除業後気管支摘出術を施行した。

【症例】症例1は61歳女性、陳旧性肺結核を伴う気管支拡張症で再三の咳血歴があり、過去二回気管支動脈塞栓術が行われたが咯血を持続するため右肺全摘術を施行した。術後21日目気管支拡張症を発症し、気管支検査にて出血性挙上障害に気管支摘除術の診断を出しながら大綱移植術を行った。症例2は67歳男性、左肺炎定型性抗酸菌症（MAC）を伴う肺萎縮性肺疾患があり、気管支を併発して胸部分切除術を行ったが、気管支末梢摘出術を施行された。気管支摘除業後気管支摘出術を施行した。

22. 当院における気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討

澤井豊陽、宮崎幸子、井上祐（健康保険震早総合病院内科）

【目的】経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討

当院における経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。今後、気管支挿入吸引管挿入施行症例の経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。

【結果】経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。今後、気管支挿入吸引管挿入施行症例の経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。

【考察】気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。今後、気管支挿入吸引管挿入施行症例の経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。

【結論】気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。今後、気管支挿入吸引管挿入施行症例の経気管支鏡発症回復を目的に気管支挿入吸引管挿入施行症例の検討を行った。

24. 当院における縦隔鏡検査施行症例の検討

飯田哲也、小川和彦、福田正明（日本赤十字社長崎赤十字病院呼吸器科）

【目的】当院で施行した縦隔鏡検査症例を対象に、その有用性を検討した。

当院で施行した縦隔鏡検査症例を対象に、その有用性を検討した。

【結果】当院で施行した縦隔鏡検査症例を対象に、その有用性を検討した。

【結論】当院で施行した縦隔鏡検査症例を対象に、その有用性を検討した。